

XELOX 療法 を受けられる患者さまへ

・抗がん剤は、増え続けるがん細胞を攻撃する作用があります。がん細胞と同時に正常な細胞にも影響を与え、それらが副作用として現れます。副作用は必ず起こるわけではなく、その程度には個人差があります。個々に適切な処置を行い対応します。多くの副作用は治療終了後には回復しますので、正しい知識を身につけ、治療を受けましょう。

[投与スケジュール]

・**3 週間を 1 コース**として行います。1 日目の点滴時間は 3 時間程かかります。

薬品名	薬の効能	治療スケジュール	
		1日目	2～21日目
デキサート アロキシ	吐き気止め	15分 	休
オキサリプラチン	抗がん剤	120分 	
ゼローダ	抗がん剤	 1～14日目まで朝・夕に内服します	

[副作用について]

骨髄抑制：白血球減少・ヘモグロビン減少（貧血）・血小板減少

・骨髄抑制は白血球やヘモグロビン、血小板などが減少する状態です。白血球が下がると細菌感染が起こりやすくなります。ヘモグロビン減少による貧血症状、血小板減少により血がとまりにくい症状も現れることがあります。抗がん剤を投与してから 7～14 日目くらいで最も減少すると考えられています。一般的には約 2～4 週間で回復してきますが、減少する程度によって治療を休むことや投与量を減量することがあります。また、放射線を受けている方は、骨髄抑制が強くなる場合があります。

【対策】**フィルグラスチム、ノイトロジン**の投与（好中球を上げる薬）

【注意事項】

- ① **外出時はマスクの着用**を心がけ、人ごみは避けましょう！
- ② 外出から戻った時は、**手洗い・うがい**をしましょう！
- ③ 体調が悪くなければ入浴はできます。きれいな浴室に入り、体を清潔にしましょう！
- ④ 歯磨きは口の中を傷つけないように、柔らかい清潔な歯ブラシでやさしく磨きましょう！
- ⑤ ひげそりは電気カミソリを使用するほうが望ましいです。
- ⑥ 貧血時は急激な動きを避け、十分な休養をとって無理をしないようにしましょう。
めまいなどの症状があれば安静にして、動くときはゆっくり動きましょう。

過敏反応

・オキサリプラチン投与中や投与後に出現し、発疹、かゆみ、気管支痙攣、呼吸困難、血圧低下などの症状が起こることがあります。気分が悪くなったら病院スタッフに声をかけて下さい。

悪心・嘔吐、食欲不振

・悪心、嘔吐は抗がん剤による胃や腸の粘膜障害および運動障害などで起こると考えられています。吐気、嘔吐および食欲の低下をおこします。症状の程度や持続時間には個人差があり、投与当日に症状がでることもあれば、5 日間ほど続くものもあります。

【対策】①吐き気止めによる予防・治療

②食事制限がない場合、**好きなもの**を少しずつ食べてください。

香りの強いものや脂肪の多い食品は避けた方が良いでしょう。

③水分をきちんととるようにしましょう！

注射部位反応

・オキサリプラチンを腕から直接投与した場合、注射部位が痛くなることがあります。

温めたり、投与速度を遅くすることで痛みが軽減することがあります。

痛みを感じたらスタッフに声をかけて下さい。

末梢神経障害

・オキサリプラチンの影響にて手、足、口、喉の周りにしびれ、痛み、感覚が鈍いなどの症状が見られます。投与中、投与 5 日後にでてくることがあります。2、3 日で症状が消失しますが、長期に治療を行うと回復に時間がかかります。ひどくならないように休薬することで症状が軽減します。

【注意】冷たいものを飲食したり、触ることで症状が強くなるので注意しましょう。

温かい靴下、手袋、フーフなどを利用して保温に努めましょう。

手足症候群

・抗がん剤によって手足の皮膚及び爪に症状が現れます。主な症状は手足のしびれ、痛み、乾燥、発赤、色素沈着、ひび割れ、水ぶくれ、皮膚のはがれおち、皮膚が硬くガサガサした状態、爪の変形などが現れます。

【対策】①**保湿剤、日焼け止め**、ステロイド軟膏、抗生物質

②**入浴時は熱いお湯を避け、刺激の少ない石鹸を使用する。日光を避ける。**

足などに負担がかからないように、きつい履物や長時間歩行などは避ける。

- * その他、気になる症状があらわれた際や不安な時は、必ず医師、薬剤師または看護師に遠慮なく声をかけてください。
- * 休日、夜間に調子が悪くなった場合は、救急センターに受診することをお勧めします。
その時は、事前に病院に連絡をしてください。



済生会横浜市東部病院 化学療法センター

☎ 045-576-3000

図：副作用の発現時期

